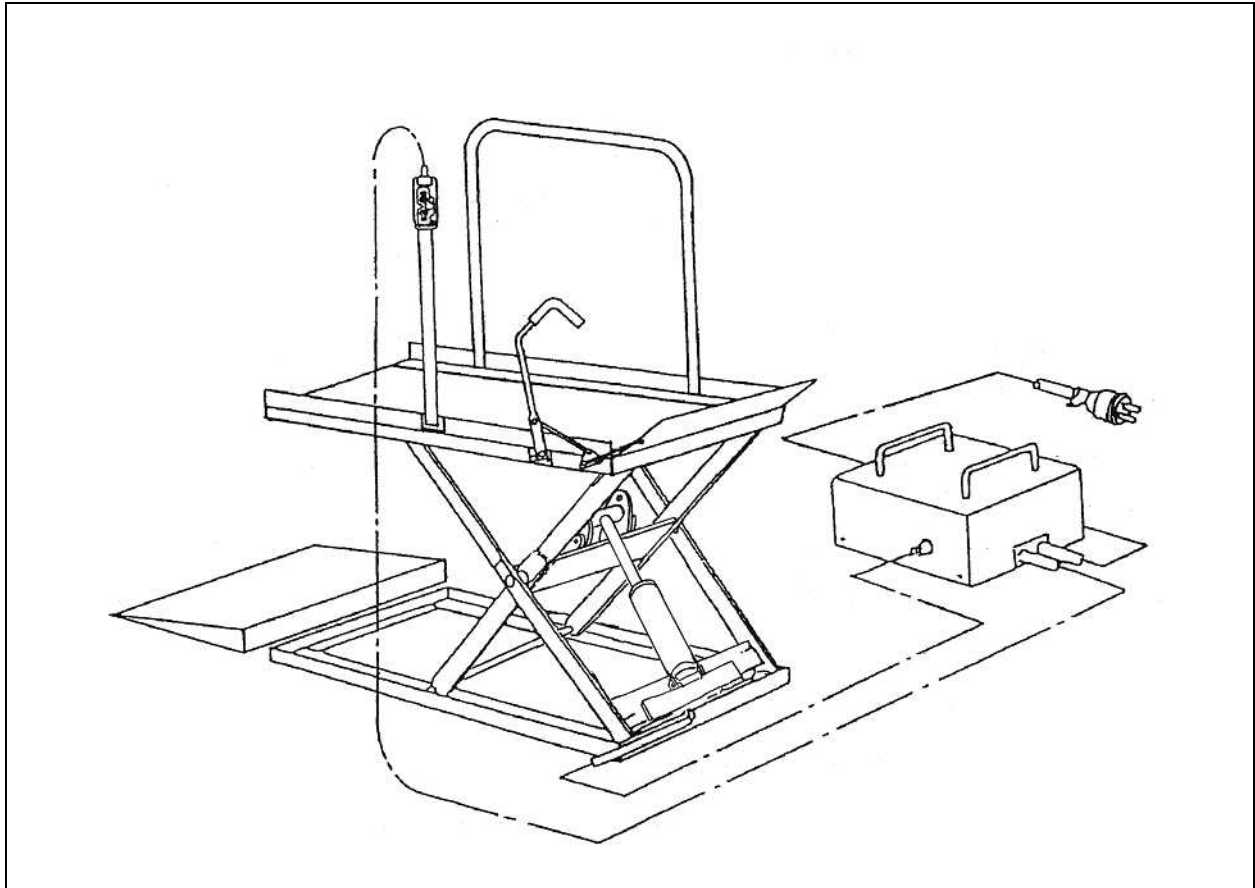


取扱説明書

車椅子用段差解消機

フラットリフト 300

最大搭乗荷重 300 kg



絵はオプション付

このたびは車椅子用段差解消機をお買い上げ頂きありがとうございます。

御使用前にこの“取扱説明書”をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

お読みになったあとは大切に保管しておいて下さい。万一紛失の場合はご請求下さい。

 **花岡車輛株式会社**

ま え が き

フラットリフトは、車椅子では移動困難な段差を解消し、乗り移りを容易にする製品です。本リフトを能率よく安全にご使用頂くために、下記事項にご注意下さい。

⊘禁止事項

- (1)許容搭乗荷重以上にての使用はしないで下さい。
- (2)搭乗時、テーブルよりはみ出したり、テーブルを揺るがしたりしないで下さい。
- (3)リフト操作は、手足・油圧ホース・電源コード等をテーブルとフレームの間に差し込まない様周囲の安全を確認してから運転して下さい。
- (4)運転者の他は、危険防止のためリフトに近づけないで下さい。
- (5)飛び乗り、飛び降りしないで下さい。
- (6)無断で改良はしないで下さい。責任は負いません。
- (7)電源には漏電ブレーカーの取付を行って下さい。漏電ブレーカー無しで使用しないで下さい。
- (8)アース(接地)工事は必ず行って下さい。アース無しでの使用はしないで下さい。

⚠️注意事項

- (1)本機の電源は AC100V 50 / 60Hz です。
- (2)コンセント定格は、100V 10A 以上のコンセントをご使用下さい。
- (3)油圧ユニットは、雨や水の掛からない場所に置いて下さい。
- (4)荷重は、テーブルの中心に乗って下さい。
- (5)リフトの上昇・下降中は、車椅子にブレーキを掛けて下さい。
- (6)ご使用前に本取扱説明書をよく読んで下さい。

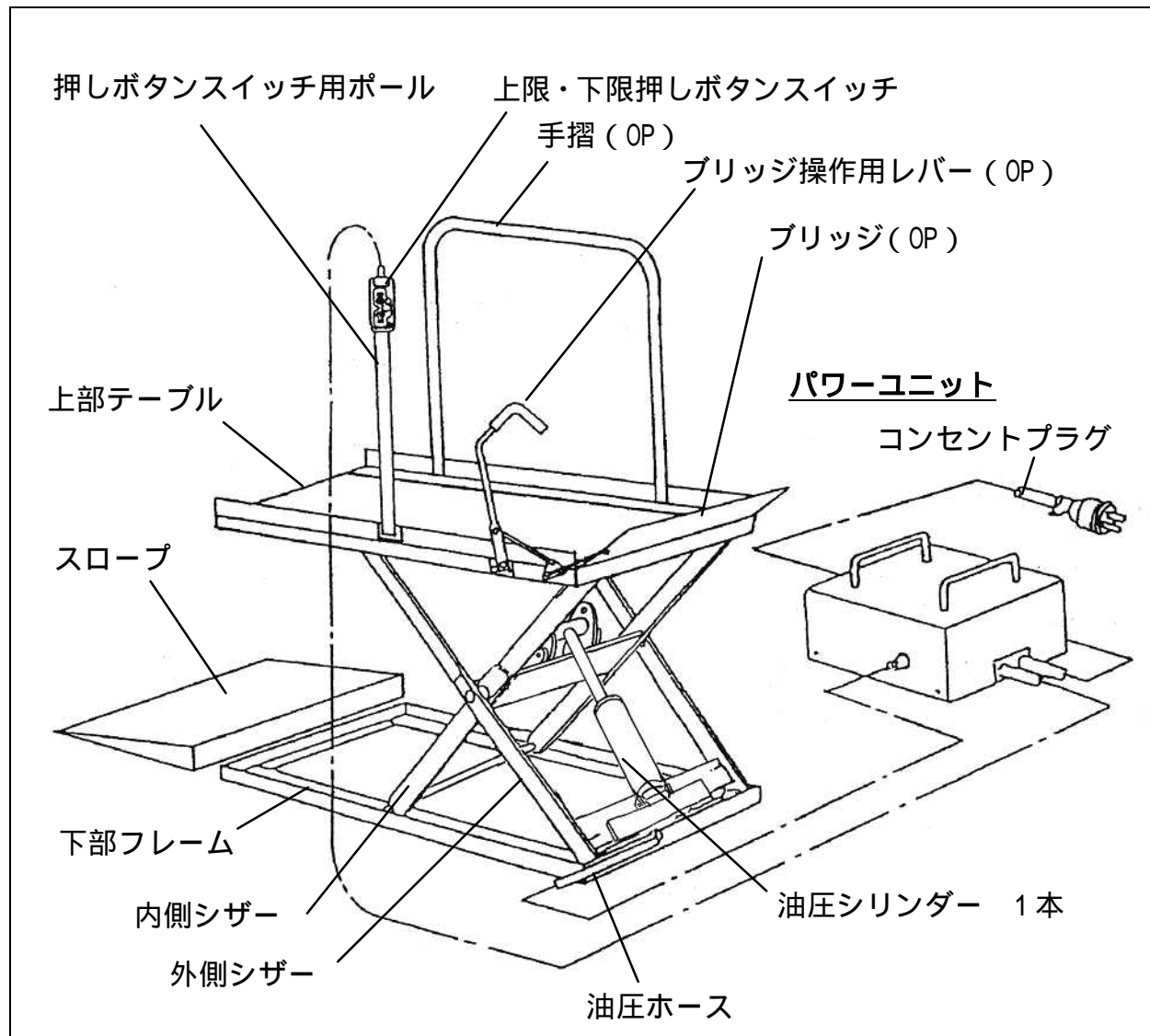
上記の禁止事項、注意事項を守って頂かないと、転倒、落下の恐れがありますのでご注意下さい。

目 次

まえがき	2
全体図	4
製品仕様	5
. 組み立て(運転準備)	6
- 1 カプラーの結合	6
- 2 カプラーの分離	7
- 3 コンセント(プラグ)を電源に接続	7
. 運転及び移設	7
- 1 テーブルの上昇・下降	7
- 2 設置場所の移動	8
. 使用方法	8
- 1 乗り込み	8
- 2 乗り降り	8
. 保守・点検	9
- 1 “かいもの”の取り付け	9
- 2 給油	10
- 3 作動油	10
- 4 外視異状点検	10
- 5 清掃	10
. 異常と処理	11
設置要領書	12・13

全体図

FLW - 300



OP.....オプション部品

製 品 仕 様

型 式	FLW03-0813	FLW03-0814J
搭乗荷重 (kg)	300	300
最低高さ (乗り込み面) (mm)	78	78
最高高さ (乗り込み面) (mm)	1000	1000
揚 程 (mm)	922	922
テーブル寸法 (mm)	800W × 1300L	800W × 1450L
駆 動	電動油圧 AC100V 0.3kw	
油圧ユニット	外置(モーター、ポンプ、タンク、バルブ)	
シリンダー	50 × 200ST × 1 本	
電 源	単相 100V 50 / 60Hz	
モーター	0.3kw(15分定格)	
上昇時間 (sec)	36 / 30 (50 / 60Hz)	
下降時間 (sec)	約 37	
操 作	押しボタンスイッチ	
塗装色	ベージュ	
落下制御	フローコントロールバルブ	
標準装備	スロープ(500Lmm)	
	押しボタンポール	
	上限自動停止装置	
	挟み込み防止装置	ジャバラ
オプション	手摺り	
	ブリッジ	
	3点押しボタンスイッチ	
	防雨シート	
	上昇下降無線遠隔操作	

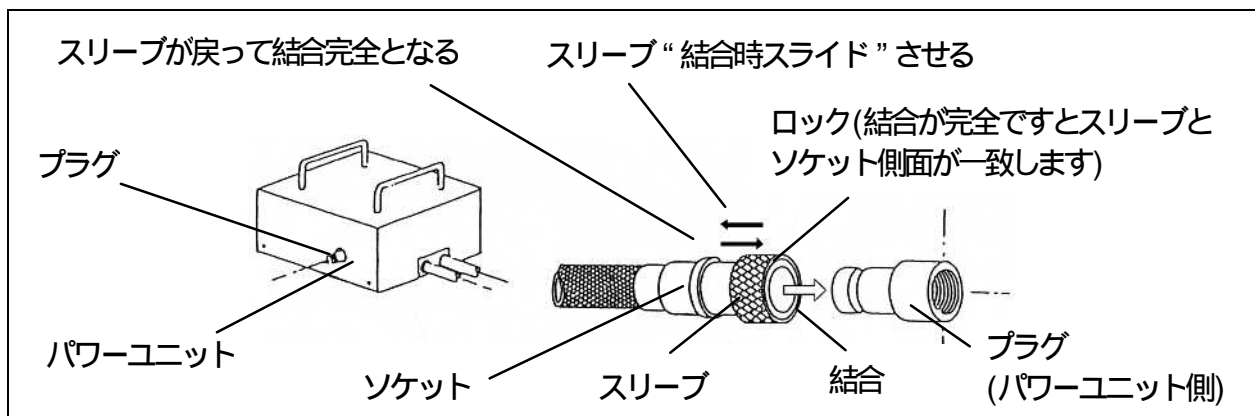
組立 (運転準備)

組立時の注意事項

- (1)ご使用前の準備として、本体とユニットの結合及び試験運転が必要です。
- (2)リフト本体を、平らな強い床面の使用位置に設置して下さい。
- (3)配線コード、油圧ホースの長さは、仕様書で確認して使用位置を決めて下さい。
- (4)設置位置は、乗り降りに支障がない、広さのある場所に設置して下さい。狭いと操作時危険です。

- 1 カプラーの結合

リフト本体の油圧ホース端のカプラー（ソケット）とパワーユニットのカプラー（プラグ）を結合して下さい。（プラグのカバーを取ってから。）結合は、ソケットのスリーブを下図の矢印の方向にスライドさせ、そのままの状態プラグ側に充分はめ込んで、同時にスリーブだけを放して下さい。（その間ソケット本体はプラグ側に押しつけたままとします。）



スリーブは、スプリングの力で常にソケットの先端に押されていますが、（ロック位置）ソケットが十分にプラグに押し込んでないと、スリーブは元の位置に戻りません。

（結合不完全...油が漏れます。）結合は、スリーブの戻りを確認して下さい。

⚠️ 注意事項

結合は必ずテーブルの最下位で行って下さい。（そうでないと結合できなくなります。）

- 2 カプラーの分離

分離は、必ずテーブルを最下位にして行って下さい。上昇した状態で行うと、再び結合することが困難になるばかりではなく油漏れの原因となります。

分離は、結合時と同様にソケットのスリーブをリフト側に引いて下さい。ロックが外れますので、そのまま引き抜いて下さい。分離後はカプラー保護のためビニール袋等を被せて下さい。

- 3 コンセント（プラグ）を電源に接続

- (1)電源は AC100V 50 / 60Hz を確認して下さい。
- (2)ソケットにプラグをしっかりと差し込んで下さい。
- (3)アース線（緑色）を接地させて下さい。

注意事項

コンセントは必ず、100V、10A以上の専用として下さい。尚、他の電気製品と同時に使用すると電圧が低下し、故障の原因となります。

これで運転の準備はすべて終わりました。

・ 運転及び移設

次の操作説明に従って空荷で試験運転を行って、仕様通りであることを確かめて下さい。
(上昇・下降の作動及び、カプラーの接続等)

- 1 テーブルの上昇・下降

(1)上昇(押しボタンスイッチ)

操作スイッチの上昇ボタンを押して下さい。押ししている間だけテーブルは上昇し、離すと上昇は止まり、その位置で停止します。一旦停止してから更に上昇ボタンを押すと上昇します。

(2)下降(押しボタンスイッチ)

下降も上昇と同様、下降ボタンを押している間だけテーブルは下降。放すとその位置で止まります。

(3)オプション

3点押しボタンスイッチ

上昇ボタン

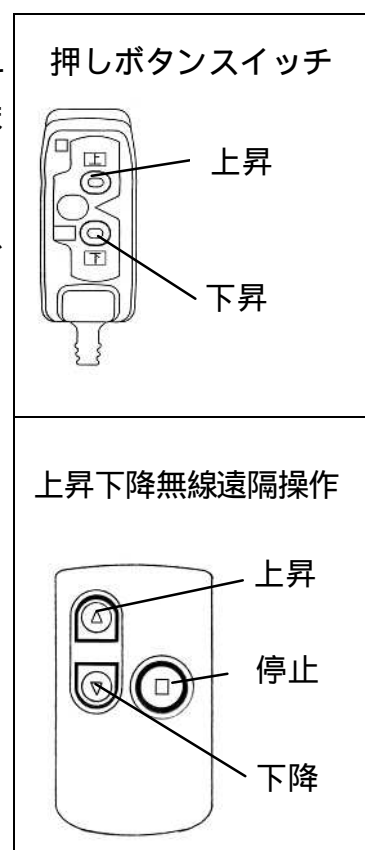
操作スイッチの上昇ボタンを押して下さい。一度押すだけで、上限まで上昇します。

下降ボタン

操作スイッチの下降ボタンを押して下さい。一度押すだけで、下限まで下降します。

停止ボタン

上昇・下降の動作中に押すと、テーブルはその位置で止まります。再度動かす場合、上昇ボタン又は下降ボタンをもう一度押しますと、上限又は下限まで動き止まります。



上昇下降無線遠隔操作(3点押しボタンスイッチ)

操作スイッチと本体(油圧ユニット)を電線で継ぐことなく3点押しボタンスイッチと同じ操作が可能です。

A: 上昇、B: 停止、C: 下降となります。

- 2 設置場所の移動

フラットリフトの移動は下記の順序で行って下さい。

- (1) テーブルを最下位に下げ、空荷にします。
- (2) コンセントプラグを抜取る。
- (3) パワーユニット、コード及び配管部をテーブル上に乗せ、引きずらない様に移動する。

備考..... 配管のカプラーを外してリフト本体とパワーユニット部を分けて移動する場合があります。
尚、ホースは向かって左側に曲がってフレームに取付けてありますが、ビスの取付ネジがフレームの右側にも設けてありますので右側に曲げることもできます。

. 使用方法

- 1 乗り込み

- (1) 乗り込みは静かにテーブルに平均的に乗って下さい。また、テーブルよりはみ出さない様ご注意ください。
- (2) 乗り込み完了後、完全にタイヤが動かない様固定して下さい。
- (3) 搭乗者は、テーブルよりはみ出したり、テーブルを揺るがしたりしないで下さい。
- (4) 乗り降りの際も静かに乗り移って下さい。テーブル高さは、乗り移り側高さと同じ高さに合わせご使用下さい。

- 2 乗り移り

- (1) 乗り移りは、完全にテーブルが停止するまで動かないで下さい。
- (2) ブリッジを通過する前に、完全にブリッジが乗り移り側へ掛かっていることを確認後、乗り移って下さい。

・保守・点検

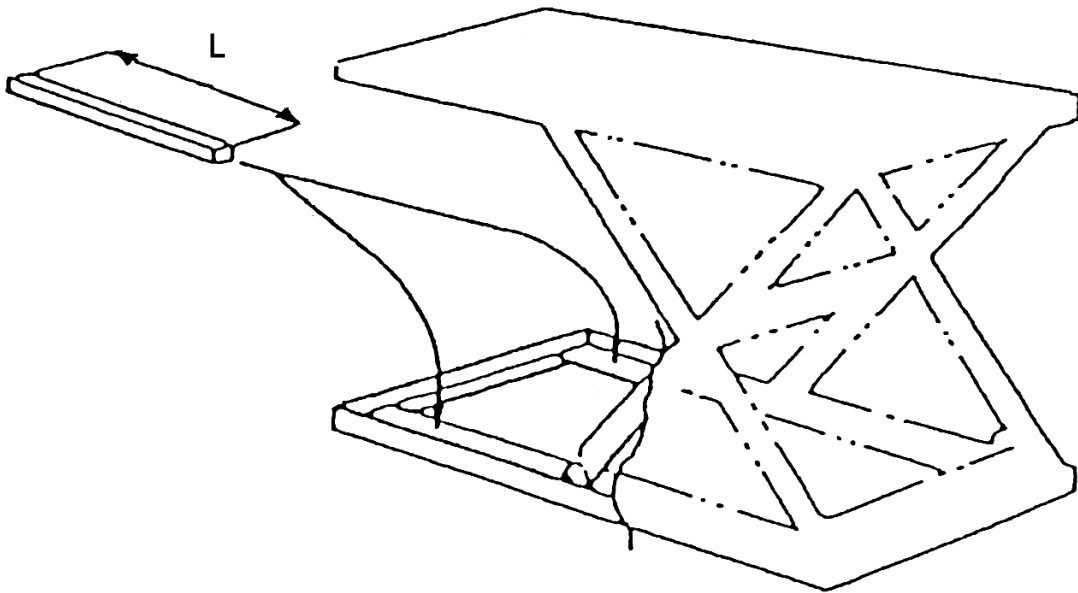
注意事項

保守・点検は、危険防止の為、下記の“かいもの”をご使用下さい。

- 1 “かいもの”の取り付け
 - ・テーブルを空荷にして行って下さい。
 - ・コンセントを抜き、電源を切って下さい。
 - ・下記“かいもの”を取付けて下さい。

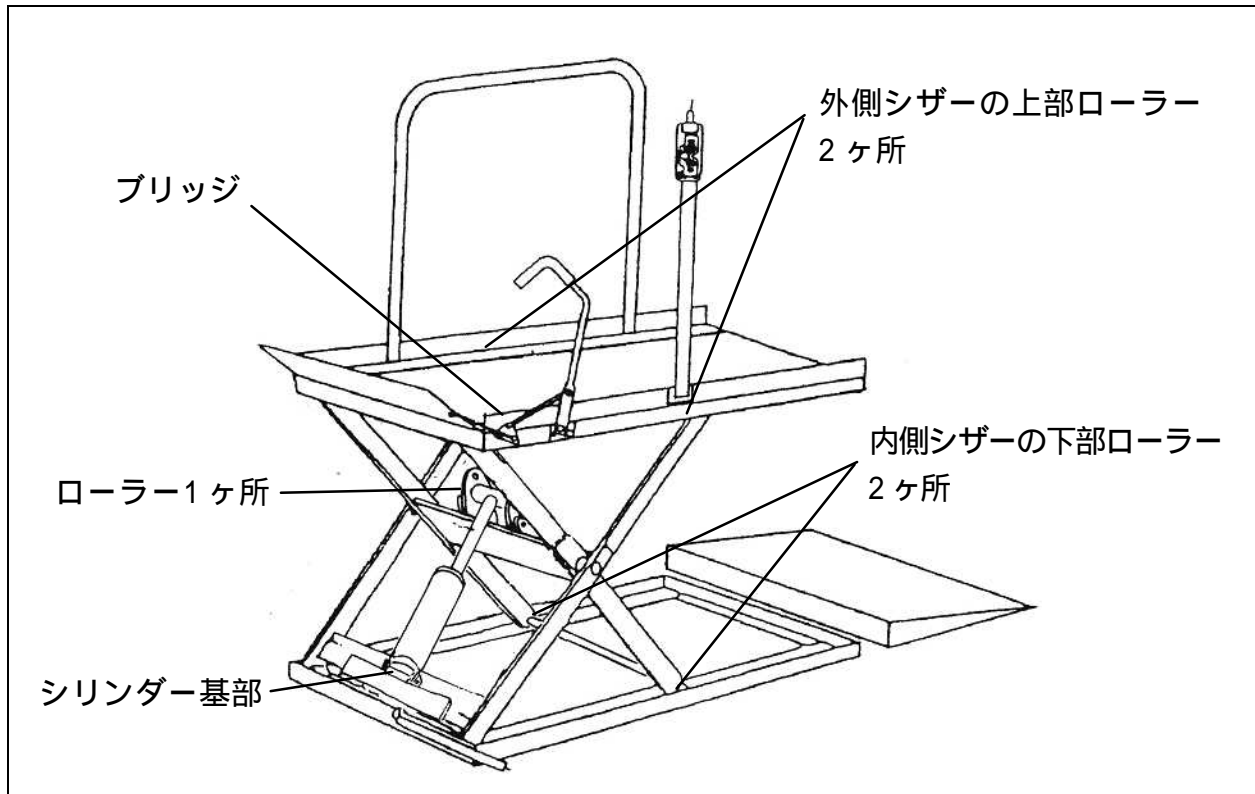
かいものは、下図の通りフレームとシザーのローラー間に挿入し、“かいもの”が浮き上がらない様、重しをそれぞれ付けて下さい。(重しは約 20kg)
尚、かいもの推奨寸法は、100W×40H×350L (mm)

かいものは、保守点検中にテーブルが下降するのを防ぎます。
危険防止対策として必ず行って下さい。



- 2 給 油

給油は、本機のスムーズな安全運転に欠かすことができません。本機の主要部分はオйлレスメタルを使用しております。この部分は、半永久的に給油の必要がありませんが、他の滑動部には月 1 回又は、必要に応じて機械油又はグリスを給油して下さい。下図は注油個所を示します。



- 3 作動油

油圧装置の作動油は日本石油ハイランドオイル 32 を使用しています。作動油の混用は避けて下さい。

- 4 外視異状点検

下記の項目について外視で異状がないか常に点検をする様心掛けて下さい。

- (1) 油圧シリンダーからカプラーまでの配管部 油漏れ、損傷
- (2) カプラーの結合部 油漏れ
- (3) コンセントプラグ及び操作スイッチへのコード部の損傷
- (4) パワーユニットからテーブル裏面までの配管部損傷
- (5) コロ軸の摩耗はないか
- (6) シリンダーに異音はないか
- (7) 上昇・下降にガタはないか

- 5 清 掃

ローラー溝に異物があると、昇降に支障がございますので清掃して下さい。

. 異常と処理

修理を依頼される前に、この「異常と処理」をよくお読みの上、次の点検をして下さい。尚、下記の原因に該当しない場合には販売店に連絡し、修理を行って下さい。

症 状	原 因	処 理
上昇しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運搬用アイボルトが取り付けられている。 2. 電圧が低下している。 3. 電源が入っていない。 4. 重量が最大能力を越えている。 5. 上限停止装置に異物がある。 6. 油圧ユニット部が劣化している。 7. 油量が低下している。(油漏れの可能性があります。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運搬用アイボルトを外して下さい。 2. 専用電源を設けて下さい。 3. ブレーカを ON に入れて下さい。電源コードプラグを差し込んで下さい。 4. 最大能力以下にして下さい。 5. 上限停止装置部の異物を取り除いて下さい。 6. 販売店に連絡し交換して下さい。 7. 油漏れが無いか確認し補充します。(油漏れの場合は販売店に連絡)
上昇が遅い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重量が最大能力を越えている。 2. 油圧ユニットが劣化している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最大能力以下にして下さい。 2. 販売店に連絡し交換して下さい。
下降しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源が入っていない。 2. 挟込防止装置が作動している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブレーカを ON に入れて下さい。電源コードプラグを差し込んで下さい。 2. 少し上昇させ、挟込防止装置の異物を取り除く。
自然に下降する	<ol style="list-style-type: none"> 1. シリンダーパッキンが摩耗している。 2. 油圧ユニットのバルブ不良 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 販売店に連絡しシリンダー又はパッキンを交換して下さい。 2. 販売店に連絡し修理して下さい。
本体から異音が発生する	<ol style="list-style-type: none"> 1. なじみが不足している。(使用初期) 2. ブッシュ等が摩耗している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幾度か使用しているうちに、音は消えます。それでも音が消えない場合は滑動部に油を注油して下さい。 2. 滑動部に油を注油して下さい。それでも音が消えない場合は修理が必要です。

設置要領書

概要

本設置要領書は、段差解消機の設置工事に適用するもので、下記要領に従い据付けを行って下さい。

設置要領

設置は場所決めの後、アンカー打ちを行います。

設置場所は、出来るだけ水はけの良いコンクリート上にして下さい。土の上等に設置する場合は、厚さ 4.5 mm以上の鉄板を敷いて下さい。

段差と本体の隙間を確認するため、試運転後に設置を行う事をお勧めします。

1. 設置前準備

油圧ユニットは、雨水等がかからない場所に置き、水の進入を防いで下さい。

油圧ユニットから出ているアース線（緑色）は、地面に接地して下さい。

尚、安全の為に電源には漏電ブレーカーを付けて下さい。

2. 方向

段差解消機は、段差のある方向にシザー固定軸側、フロアー面側にコロ側が極力向く様に方向を定めて下さい。

3. 設置場所決め

段差解消機の設置場所決めは、本体と段差側に当たらないか見ながら設置場所を決めて下さい。（コンクリートの歪みや勾配により上限時と下限時で隙間が違うことがありますのでご注意ください。）

尚、オプションのブリッジ付の場合は、必ず立てた状態で当たりが無いか見て下さい。又、段差上面位置にてブリッジを倒した時に、ブリッジが正しく掛かるか確認して下さい。

位置決めの際、微調節時にバール等を使う場合は、油圧ホース・配線・挟込防止装置等をキズつけない様、充分注意して下さい。……次頁 禁止事項参照

4. アンカー打ち

設置場所が決まりましたらアンカー打ちです。下部フレームのアンカー取付け位置に、コンクリートドリルで 10.5 mmの穴を開けます。穴開けはできるだけ現合にて行って下さい。

穴開け作業が終了しましたら粉塵を除去し、10 mmのコンクリート用アンカーを打ち込み、締め付けて下さい。

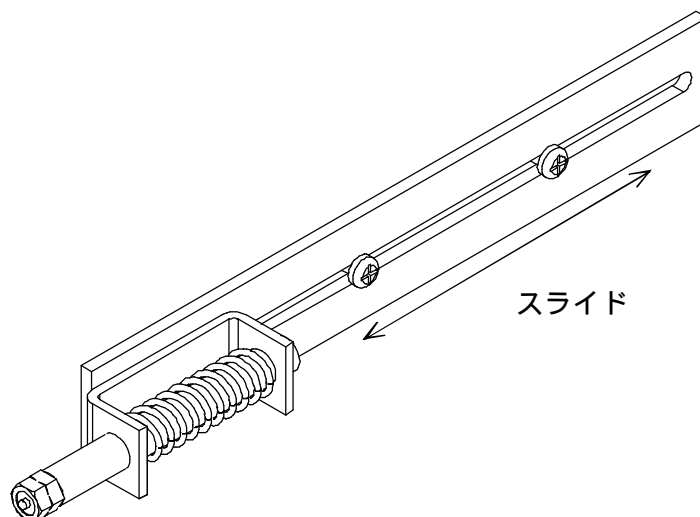
尚、ジャバラ付の場合、内側にアンカー取付け穴がありますので、ジャバラの下のマジックテープを剥がし持ち上げ、テーブルにロープ等で固定して行なって下さい。

アンカー打ちは、シザー固定軸側の 2 本以上を原則とします。

5. 上限調節（上限設定高さを変更する場合）

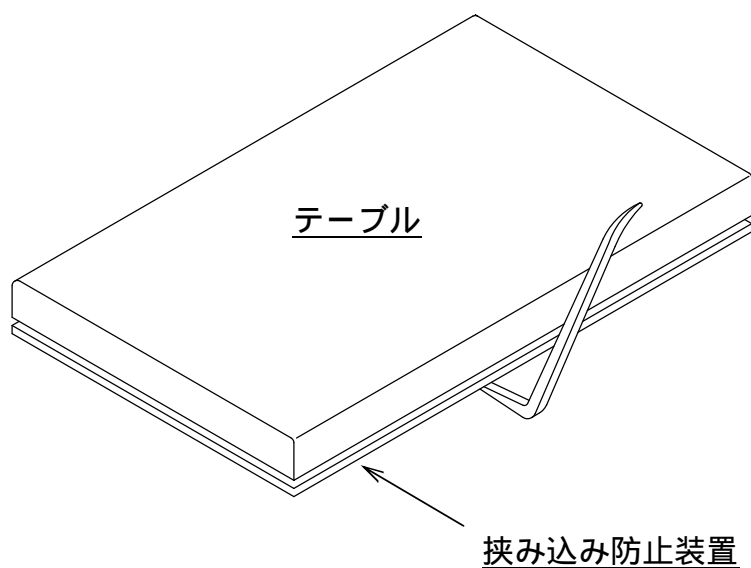
下部フレームのローラー溝に取付けられている上限停止装置をスライドさせ、上限高さを調節して下さい。調節後は、上限停止装置の配線をシザーで挟まないように養生して下さい。

危険防止のため下部フレームとローラー間に“かいのも”を取付けてから作業を行なって下さい。…………… 取扱説明書 …… 保守・点検 参照



⊘禁止事項

テーブル下面には「挟み込み防止装置」があります。リフト本体の設置移動時に、ボール等で壊さない様ご注意ください。



保証書

お買い上げ頂きました弊社製造の当製品について下記の保証を致します。

1. 保証期間

保証期間は納入した日より6ヶ月と致します。

2. 保証内容

通常取り扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じ、弊社がその欠陥を認めた場合、無償にて修理致します。

3. 適用除外

- (1) ご使用上取り扱いの過失により発生した故障。
- (2) 改造又は不当な修理に帰依すると認められる故障。
- (3) 火災又は天災などの不可抗力、及び故障の原因が本製品以外に起因する故障。
- (4) 作動油の交換。
- (5) 手入れ不十分又は故障によって生じられると認められる故障。

花岡車輛株式会社

9910

製造元

花岡車輛株式会社

本社 (ショールーム)

〒135 - 0021 東京都江東区白河 2 - 17 - 10
03 - 3643 - 5271(代) FAX 03 - 3643 - 4886

大阪支店

〒532 - 0011 大阪市淀川区西中島 7 - 1 - 26 新大阪地産ビル
06 - 6305 - 3322(代) FAX 06 - 6305 - 5013

名古屋営業所

〒456 - 0013 名古屋市熱田区外土居町 9 - 14 トキワ外土居ビル
052 - 683 - 7351(代) FAX 052 - 683 - 7352

福岡営業所

〒812 - 0014 福岡市博多区比恵町 1-30 サンいずみビル 3階 307号室
092 - 441 - 3399(代) FAX 092 - 441 - 3397

販売店名